
申告・申請等に電子署名を付与する

利用者（納税者本人）が作成した書類であることを証明するために、帳票の作成が完了した申告・申請等に電子署名を付与します。

この章では、申告・申請等への電子署名の付与について説明します。

申告・申請等に電子署名を付与する	173
------------------------	-----

電子署名の付与

申告・申請等のすべての帳票の作成が完了すると、申告・申請等に電子署名が付与できる状態になります。

受付システムに登録した電子証明書と同一の電子証明書により、申告・申請等に電子署名を付与します。

なお、納付情報登録依頼及び徴収高計算書の手続については電子署名は不要です。

また、税理士等に依頼している場合は、次の条件をすべて満たすと、納税者本人の電子署名を省略することができます。

- 基本情報の税理士等の利用者識別番号欄等に税理士情報を入力する。
- 税理士等が申告・申請等データに電子署名を付与する。
- 税理士等が申告・申請等データを送信する。

ただし、納税証明書の交付手続については、納税者本人の電子署名を省略することはできません。

また、通算親法人（委任を受けた者を含む。）が通算子法人の申告・申請等を提供する場合は、次の条件をすべて満たすと、通算子法人の電子署名を省略することができます。

- 基本情報の通算親法人による提供の欄に通算親法人の利用者識別番号を入力する。
- 通算親法人（委任を受けた者を含む。）が申告・申請等データに電子署名を付与する。
- 通算親法人（委任を受けた者を含む。）が申告・申請等データを送信する。

ただし、納税証明書の交付手続については通算子法人の電子署名を省略することはできません。

「署名可能一覧」画面を表示する

申告・申請等への電子署名の付与は、「署名可能一覧」画面で行います。

この画面には、電子署名の付与又は削除が可能な送信前の申告・申請等が表示されます。

「署名可能一覧」画面は、以下のいずれかの手順で表示することができます。

- **メニューボタンから表示する**
「電子署名」から「電子署名」を選択します。
- **メニューバーから表示する**
[表示] - [署名可能一覧] を選択します。



注意

地方提出申請の手続（eLTAX を経由して給与所得や公的年金等の支払報告書及び源泉徴収票を一括提出する法定調書の電子的提出の一元化専用データ）については電子署名の付与が行えないため、「署名可能一覧」画面に表示されません。eLTAX が提供する PCdesk 等を利用して電子署名の付与を行ってください。

電子署名の内容を表示する

申告・申請等へ付与した電子署名の内容の確認は、「署名内容の表示」画面で行います。

この画面には、申告・申請等に付与された電子署名の内容（シリアル番号、発行先、発行元、有効期間等）が表示されます。

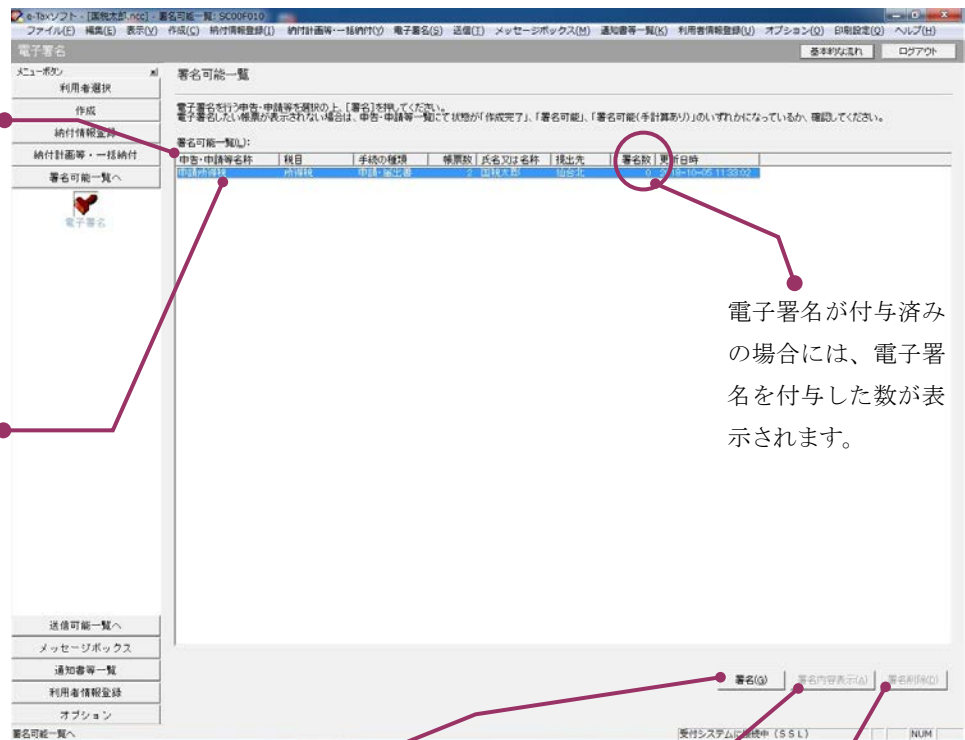
「署名可能一覧」画面でできること

「署名可能一覧」画面では、以下の操作を行うことができます。

それぞれの操作については、該当する箇所を参照してください。

クリックした項目を基準にして、一覧のデータを昇順／降順に並べ替えることができます。

電子署名可能な申告・申請等が表示されます。申告・申請等の情報を確認することができます。



電子署名が付与済み
の場合には、電子署名
を付与した数が表示
されます。

電子署名を付与します。

➡ 9-1 「申告・申請等に電子署名を付与する」

電子署名の内容を表示します。

➡ 180 ページ 「署名に使用した証明書の内容を表示するには」

付与した電子署名を削除します。

➡ 179 ページ 「電子署名を削除するには」

次頁以降で各操作について説明します。

9-1

申告・申請等に電子署名を付与する

電子署名可能な申告・申請等を確認し、受付システムに登録した電子証明書と同一の電子証明書を使用して、申告・申請等に電子署名を付与します。

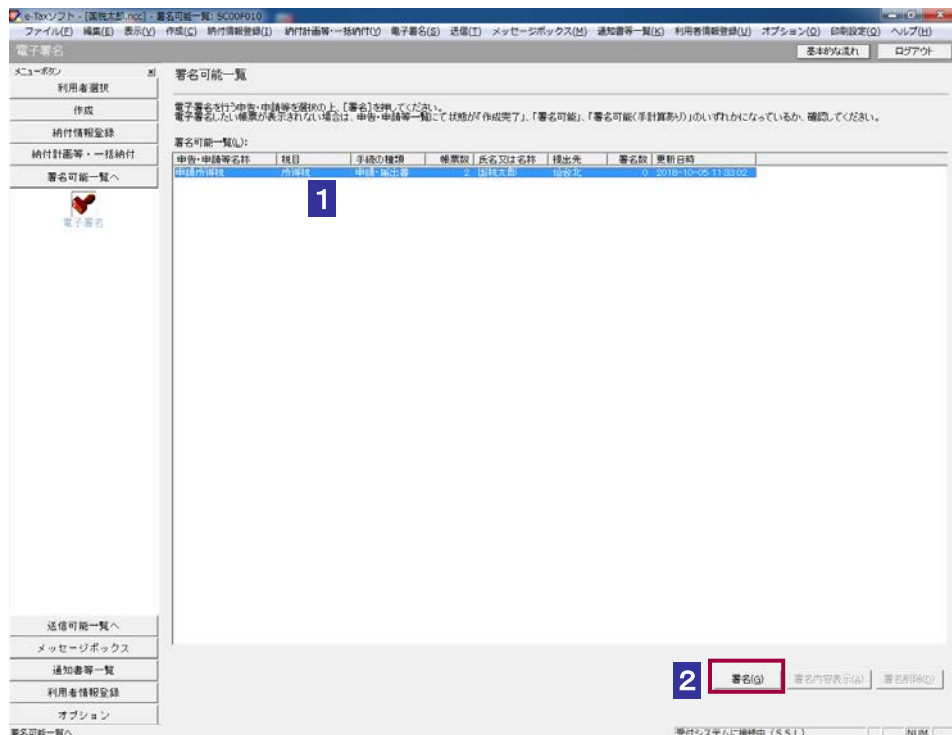
なお、電子署名を行う帳票が、異動届出、変更届出の場合は、手順が異なります。以下を参照してください。

➔ 「18-1 異動届出書を作成する」

手順

1. 申告・申請等を選択する
2. 電子証明書を指定する

1 「署名可能一覧」画面で、電子署名を付与する申告・申請等を選択します。



2 「署名」をクリックします。

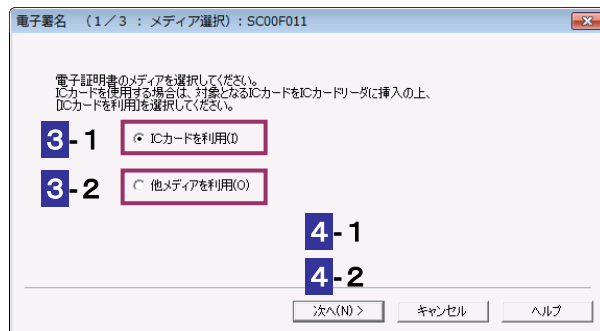


署名前チェックエラーが出た場合は、以下を参照して対処を行ってください。

注意

➔ 「177 ページ「電子署名の付与時にエラーメッセージが表示された場合には」

電子署名に使用する電子証明書を指定します。
電子証明書を格納しているメディアをチェックします。



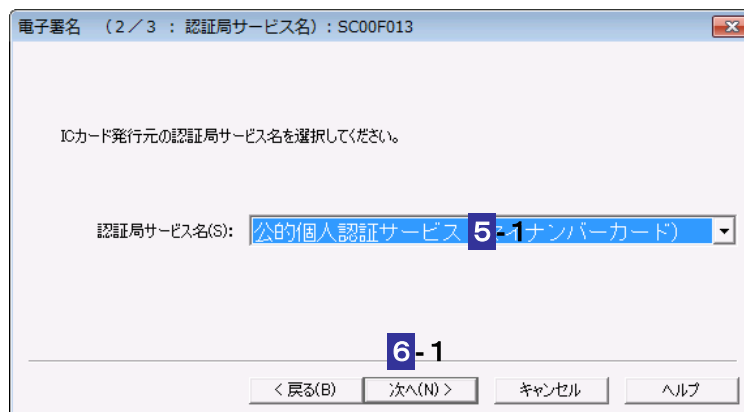
ICカードを利用する場合

3-1 ICカードをICカードリーダーに挿入し、「ICカードを利用」をチェックします。

! 必ず受付システムに登録した電子証明書が格納されているICカードを挿入してください。
注意

4-1 **次へ >** をクリックします。

5-1 ICカード発行元の認証局サービス名をリストボックスから選択します。



6-1 **次へ >** をクリックします。

7-1 ICカードのパスワードを入力します。

8-1 **OK** をクリックします。

注意 ICカードの種類により、ICカードのパスワード入力画面のイメージや表示されるタイミングは異なります。

次の操作は、**9** へ進みます。

他メディアを利用する場合

3-2 「他メディアを利用」をチェックします。**4-2** **次へ >** をクリックします。

5-2 **参照...** をクリックし、電子署名に使用する電子証明書を指定します。

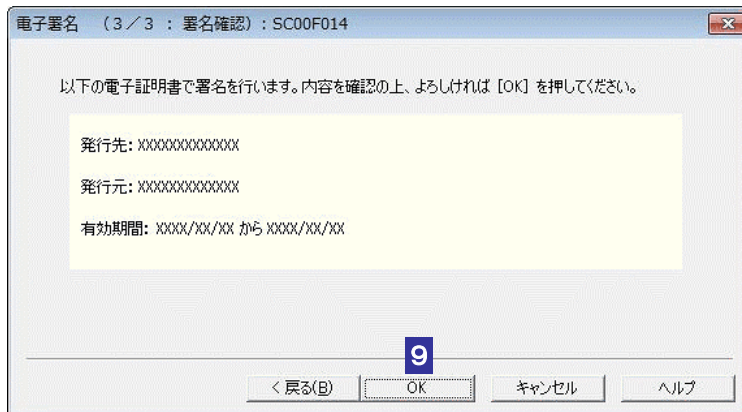
注意 必ず受付システムに登録した電子証明書を指定してください。

6-2 電子証明書のパスワードを入力します。

7-2 **次へ >** をクリックします。

次の操作は、**9** へ進みます。

9 表示されている電子証明書に間違いがないか、また有効期限が切れていないかを確認し、**OK** をクリックします。



10 メッセージを確認し、**OK** をクリックします。

申告・申請等に電子署名が付与され、「署名可能一覧」画面に戻ります。「署名数」欄に、署名されている数が表示されます。

11 IC カードを利用している場合は、IC カードリーダーから IC カードを取り出します。



注意

電子署名を行う申告・申請等により、多少時間がかかる場合があります。



ヒント

電子署名を付与すると申告・申請等の状態が「送信可能」となり、受付システムへ送信できる状態になります。



次の操作

申告・申請等を送信しましょう。


➡📖 「10 申告・申請等を送信する」




複数の申告・申請を一括して署名するには

「署名可能一覧」画面で署名する申告・申請等を選択する時に、「Ctrl」キーあるいは「Shift」キーを押しながら選択すると、申告・申請等を複数選択することができます。

複数選択した状態で **署名** をクリックした時に署名前チェックが行われます。申告・申請等に入力漏れや、不適切な箇所がある場合には、署名前チェックエラーが表示されます。エラーで示された帳票を「帳票編集」画面で編集し、エラー箇所を修正後、再度、電子署名を付与してください。

チェックの過程で「スキーマチェックエラー」が表示された場合は、それ以降の申告・申請等のチェック処理を継続するか、中断するか選択することができます。なお、「スキーマチェックエラー」が表示された場合は、**e-Tax** ソフトの操作ヘルプの「 トラブルシューティング」の「スキーマチェックエラーが出ってしまった」を参照して対処を行ってください。


チェック処理を中断するか、全ての申告・申請等のチェック処理が終了した時に「署名前チェックエラー一覧表示」画面が表示されることがあります。

なお、「署名前チェックエラー一覧表示」が表示された場合は、**e-Tax** ソフトの操作ヘルプの「 トラブルシューティング」の「署名前チェックエラー一覧表示」画面が表示された」を参照して対処を行ってください。



電子署名の付与時にエラーメッセージが表示された場合には

「署名可能一覧」画面で **署名** をクリックした時に署名前チェックが行われます。申告・申請等に入力漏れや、不適切な箇所がある場合には、署名前チェックエラーが表示されます。エラーで示された帳票を「帳票編集」画面で編集し、エラー箇所を修正後、再度、電子署名を付与してください。

なお、「スキーマチェックエラー」が表示された場合は、**e-Tax** ソフトの操作ヘルプの「 トラブルシューティング」の「スキーマチェックエラーが出ってしまった」を参照して対処を行ってください。



電子証明書を更新した場合には

電子署名を付与した後、申告・申請等を送信する前に電子証明書を更新した場合は、更新した電子証明書を使って電子署名を付与する必要があります。
付与済みの電子署名を削除し、再度、更新した電子証明書を使って電子署名を付与してください。

➡ 179 ページ「電子署名を削除するには」



電子証明書が表示できない場合には

署名内容の表示を行った際、「証明書の内容が表示できませんでした。」というエラーが表示されることがあります。

この場合、申告・申請等に付与された電子署名が破損している可能性があります。使用した電子証明書を確認し、再度署名付与した上で署名内容表示を行ってください。

再度署名付与した場合にこのエラーが表示された場合は、申告・申請等データが破損している可能性があります。新たに申告・申請等を作成し、再度署名付与した上で署名内容表示を行ってください。

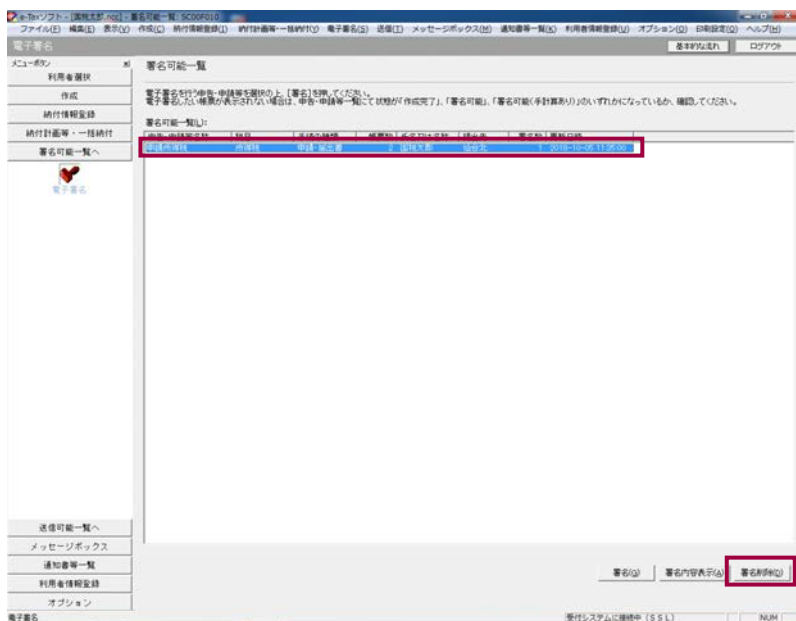
➡ 179 ページ「電子署名を削除するには」



電子署名を削除するには

申告・申請等に付与した電子署名を削除する場合は、以下の手順で行います。

1. 「署名可能一覧」画面で電子署名を削除する申告・申請等を選択します。



2. **署名削除** をクリックします。
削除確認メッセージが表示されます。
3. **OK** をクリックします。
削除完了メッセージが表示されます。
4. メッセージを確認し、**OK** をクリックします。
申告・申請等に付与されていたすべての電子署名が削除され、「署名可能一覧」画面に戻ります。「署名数」欄が「0」に変わります。



送信済みの申告・申請等の電子署名は削除できません。

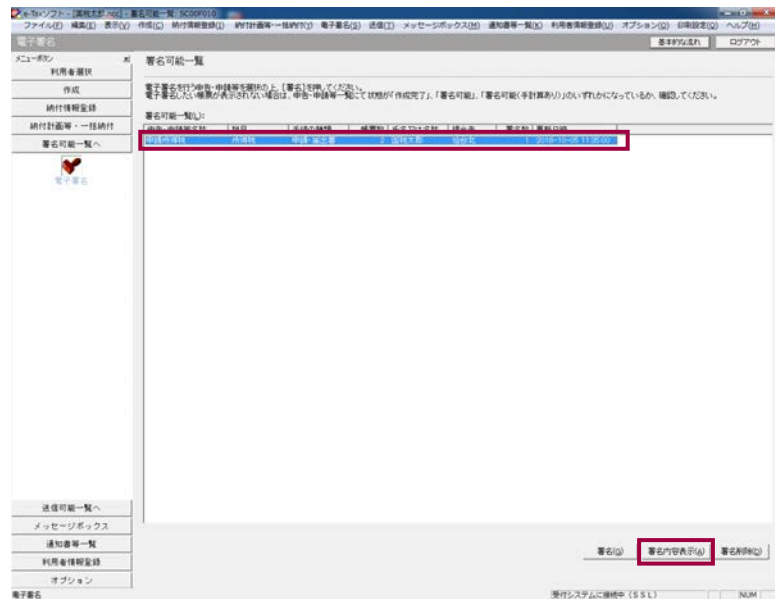
注意



署名に使用した証明書の内容を表示するには

申告・申請等の電子署名に使用した証明書の内容を表示する場合は、以下の手順で行います。

1. 「署名可能一覧」画面で電子署名に使用した証明書の内容を表示する申告・申請等を選択します。



2. 「署名内容表示」をクリックします。

「署名内容の表示」画面が表示され、申告・申請等の署名付与に使用したすべての電子証明書の内容が表示されます。

3. 内容を確認し、「閉じる」をクリックします。

「署名内容の表示」画面を終了し、「署名可能一覧」画面に戻ります。



注意

公的個人認証局の電子証明書で署名付与した電子証明書の内容をすべて表示するためには、公的個人認証サービス利用者用クライアントソフトがインストールされている必要があります。